

# 教師へのかかわり ケース演習 【獅子舞】

年 月 日 ( ) 名前

## 〈ケース〉

- ①郷土学習の一環として、小学校2年生の担任であったA子教諭は、生活科単元として「わたしたちのまちのおまつり」を取り入れることとした。
- ②担任は、単元導入に先立ち教材研究として、地域の役場・公民館・図書館・寺社などから情報収集を行った。
- ③神社訪問時に、訪問先の神社祭りでは「獅子舞」が催されることを知った。神主から説明を受ける中で、「獅子舞」の「獅子」に触れようと手を伸ばすと…
- ④神主から「だめ、だめ、触らないで欲しい。」と注意を受けた。
- ⑤A子教諭は、「どうして触れてはいけないのか」と疑問に思った旨を神主に訪ねると、
- ⑥『獅子は神体そのもの』なので、女性は触れてはならない。大切なものであるから、女性に限らず、むやみやたらに触れて欲しくない。」と神主から返ってきた。
- ⑦A子教諭は、その場は神主に従い、「獅子」に触れずに帰校した。
  
- ⑧次の日、A子教諭は校長先生にお願いをした。 ※お願い内容は⑨
- ⑨生活科の単元学習「わたしたちのまちのおまつり」の中で「獅子舞」のことについても取り扱っていきたいので、是非、神主さんから「獅子」を借りたい。ついでに、女性であるA子教諭は、借りに行けないので、校長先生自ら借用申請書を持参し、借りてきて欲しい旨を伝えた。
- ⑩数日後、校長が借用申請書を持参し神社に行くと、神主から運搬用に梱包し、神社より学校へ持参する旨を伝えられた。
- ⑪その翌日、神主が「獅子」を学校へ届けにきた。
  
- ⑫生活単元学習の時間、全員の児童が「獅子」に触った。
- ⑬A子教諭は「獅子」をもって「獅子舞」のまねごとのように、児童に舞って見せた。

## 〈演習〉

1. あなた自身が概要を読んで感じたことを書いてください。

2. グループで話し合った後のあなたの考えを書いてください。